

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新しい職員が多く 理念の共有と実践が不十分である。	フロア会議等、管理者と職員で話し合い平易で簡潔な理念を作り共有し実践に取り組む。	一人ひとりの職員がGHの理念や方針を正しく理解し実践に繋げていく。	6ヶ月
2	3	運営推進会議が2ヶ月に1回以上とされているが、26年は4回のみ開催であった。	H27年度は6回以上運営推進会議を実行する。	開催した当日に次の開催日を決め予定を立てるようにする。 知見者やご家族様の参加、議事録の公表、報告を行う。	12ヶ月
3	12	重度化や看取り時の家族と話し合い、同意は得ていたが契約時に交わしていなかった。	終末期ケアの取り組みのあり方、医療連携体制の確認や職員の研修など体制の整備の見直しを行う。	重度化や看取りに対応の指針を整備し、入居契約時に説明 同意を得ること及び重度化時にも、その都度、説明 同意 記録を行う。	6ヶ月
4	13	年2回の法定義務の訓練実施が出来ていなかった。	GH全職員が火災や地震 水害などの緊急時にも具体的に即応できるよう頻回なミニ訓練や研修を実施する。	夜間帯、職員が少ない時を想定し、火災や地震 水害などに応じた訓練を行う。	12ヶ月
5	15	食事は調理済み温めて利用者様に盛り付け等して頂き仕上げています。利用者様と職員が同じ食事が出来ていない。	利用者様と職員が同じ食事を一緒に食べられるように工夫していく。	手作り食の回数を増やし、利用者様も職員も一緒に楽しく食事をする。	1～6月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。